

※以下の内容を記入し、5日以内に、メールに添付の上、事務局（ challenge@rt-tsukuba.jp ）までお送り下さい。
この情報は、つくばチャレンジ 2014 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ 本走行の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2014 本走行 2014/ 11/16 (日)

ロボット No.: 1409

ロボット名: Pioneer3AT-GR14

チーム名: 群馬大学リバースチーム

記載責任者: 鹿貫 悠多

[1]本走行前後の実施走行について

1 実験の目的

- ・ロボットの各部位に異常がないかの確認
- ・人検出のパラメータ調整

2 実験の具体的内容と成果

2.1 実験の具体的内容

大清水公園内を自律走行させ、探索対象の人間を検出させる

2.2 実験成果

設定したパラメータで探索対象を発見することに成功

[2]本走行について

1. 設定した目標

- ・設定されたコースの完走
- ・人検出課題の達成

2. 本走行の結果

大清水公園を抜け、ペDESTリアンデッキに出る際のスロープにてロボットとの通信が切れ制御不能になったため非常停止スイッチを押しロボットを停止。その場でリタイヤとなった。

3. どこまで目的が達成されたか

大清水公園内で一人目の探索対象を検出できたが、設定した目標を達成することはできなかった。

4. 失敗した場合は、その理由として考えられること

スロープにおける振動で通信系等にハードウェア的なトラブルが発生したか？具体的な原因はつかめていない。いずれにせよ、振動に対する対策が十分でなかったことは確かである。

5. その他特記すべきこと、今後の予定など

[3]運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。